

今週のビルマのニュース
2009年4月24日【0916号】

今週のニュース：子ども兵士や人身取引について報告書、ほか

- ・国連事務総長は児童と武力紛争に関する年次報告書の中で、ビルマで軍政のほか9つの武装勢力が子ども兵士を使用しているとした（23日付イラワディ）。報告書は22日に国連安保理に提出された。
- ・米国議会上院外交委員会筆頭理事のルーガー議員は22日、ビルマからマレーシアに逃げた難民がタイ国境で人身取引業者に引き渡される事件が続いており、これにマレーシア政府関係者も関わっているとする報告書を発表し、マレーシア政府にも渡した。被害者の中には国連難民高等弁務官事務所（UNHCR）に登録されていた人もいた（22日付フィナンシャル・タイムズ）。これについてASEAN国会議員によるミャンマー議連（AIPMC）マレーシア支部のリム・キットシアン議長は24日にブログで、「人権保護に対するマレーシアの取り組み姿勢が問われることになる。マレーシアのミャンマー議連は首相と外相に面会を申し込む」などと述べた。
- ・米国議会下院のラントス人権委員会（旧「米議法人権議連」）で23日、ビルマの人権状況についてのヒアリングが開かれた。証人の1人で経済学者のターネル博士（豪・マッカーリー大学）は「今は経済制裁を解除するべき時ではない。ビルマの経済成長を阻んでいるのは軍政の政策の方だ」などと述べた。また、子どもの頃にビルマ軍の攻撃を避けて家族と共にジャングルで生き延びたカレン民族女性も「米国政府には、軍政が犯している人道に対する罪について国連安保理が事実調査委員会を設置するよう働きかけてほしい」と証言した（24日付イラワディ）。

・欧州委員会のリシュル開発総局長は21日、「軍政が民主化改革を行わない限り、開発援助の供与について公式協議に入ることはない。これはEUが制裁を課そうというのではなく、通常の接触に軍政側が応じてこないのだ」と述べた（21日付AFP）。

・オバマ米大統領は23日、国務次官補（東アジア・太平洋担当）に、カート・キャンベル元国防副次官補を指名すると発表した。米国議会上院の承認を経て就任することになる。

ビルマへの政府開発援助（ODA）約束状況など

〈人間の安全保障草の根無償資金協力〉
3月25日 マンダレー管区の公衆衛生研究所への機材提供のため約593万円

イベントなど

- ・在日ビルマ人共同行動実行委員会アクションー国連事務総長に対し、一刻も早くビルマを訪問し、スーチャーさんを含むすべての政治囚の釈放と対話の促進を軍政に働きかけるよう要請するアピール行動（国連大学前、20～24日15～16時）
- ・ビルマの政治囚の釈放を求める署名活動 ビルマ政治囚支援協会、国民民主連盟（解放地域）日本支部ほか（JR新宿駅東口、25～26日13時～）
☆署名活動は日本を含む世界32カ国で展開中。23日現在、25万以上の署名が集まっている。
- ・ビルマ難民申請者カチン民族Aさん 難民不認定処分取消等請求事件口頭弁論（福岡地裁303号法廷、27日13時10分～）終了後、福岡県弁護士会館第二会議室で報告会
- ・難民を助ける会『ミャンマー・サイクロン発生から1年～現地スタッフが語る被災地の「今」』（東京ウィメンズプラザ、30日18時15分）★要申込
- ・ロヒンギャ民族難民申請者Mさん 難民の認定をしない処分取消等請求事件口頭弁論（福岡地裁303号法廷、5月14日10時半～）、同Zさん、Lさん、Nさん口頭弁論（福岡地裁303号法廷、5月19日10時半～）。両日とも終了後、福岡県弁護士会館2階で報告会あり。
- ・第57回ビルマ市民フォーラム例会（池袋・ECOとしま7階、5月30日18時～）
- ☆ミニアルバム「ミャンマー軍事政権に抗議するポエトリー・リーディング QUIET」（いとうせいこう×沢知恵×ダブマスターX）発売中、無料インストール・ライブ（タワーレコード渋谷店、5月2日17時）。*CD売上げの一部はサイクロン被災支援に。

もっと詳しい情報は

きょうのビルマのニュース（平日毎日更新）
<http://d.hatena.ne.jp/burmainfo>

ビルマ情報ネットワーク
<http://www.burmainfo.org>

<p>お問い合わせ ビルマ情報ネットワーク 秋元由紀 yuki@burmainfo.org 080-2006-0165</p>
--